

平成 30 年度 水戸市への提案・要望

1. 水戸市の全体の課題に対する提案・要望

(1) 中小企業振興策について

① 制度融資利子補給の継続(継続要望)

〈金融・経営支援部会、起業家育成・支援委員会〉

水戸市の制度金融である自治金融と振興資金は平成4年から利子補給及び保証料の補給が行われており、昨年度より小規模事業者経営改善資金(マル経融資)につきましても、利子補給制度が復活されました。マル経融資は、保証協会が利用できないケースでも利用が可能で、自治金融同様中小・零細企業にとって利子補給は、金利負担が軽減されることから、利用者の経営改善に貢献することが期待されます。

つきましては、市内中小企業の経営の安定と地域経済の活性化を図るため、平成31年度以降も引き続き自治金融・振興資金及びマル経融資の利子補給について現行の1%を継続されますよう要望いたします。

期待される効果等

厳しい経営環境が続く中小・零細企業の経営の安定と地域経済の活性化につながる。

② 物品調達と公共事業の地元企業への優先発注継続と、公共工事の品質確保に合わせた適正価格設定(継続要望)

〈工業部会、建設部会〉

人手不足等による労務費や原材料費の高騰などにより、中小企業をはじめとした建設業の経営環境は依然として厳しい状況が続いています。そんな中、昨年4月からは社会保険の加入対策がさらに強化され、原則として社会保険への適正な加入をしていない労働者の工事現場への入場が認められないことになりました。これにより、労働者の処遇が改善され、若者の就労者増加も期待されますが、社会保険の加入に伴う法定福利費の増加は企業経営に対し大きな負担となります。現在は、設計書に法定福利費の明確な区分がなく、国および茨城県の積算基準と同様に現場管理費の一部として計上・発注をいただいておりますが、労働者を適切に社会保険に加入させるためには、必要な法定福利費を確保する必要があり、国においては法定福利費の表示の明確化を進める動きも出て来ております。水戸市におかれましても早期の対応をお願いしたいと考えています。

また、厳しい経済環境の中で地元企業を育成・発展させていくためには、市内企業からの物品調達や計画的・安定的な公共工事の発注を行うなど、投資した資金を地域内で循環させ、地域経済を活性化させていくことが必要です。市外の企業に工事を依頼する際には、理由の明確化と公開をお願いいたします。

当所が実施した会員事業所へのアンケート調査では、低価格での入札を繰り返す事業者への適切な対応、公共施設等の設計の多様化・複雑化に対応した適正な価格および工事期間による発注、水戸市担当課の定期的な工事の進捗状況の把握・管理をお願いしたいとの要望がありました。

つきましては、関係法律を遵守するとともに最低制限価格制度や低入札価格調査制度の活用によるダンピング受注防止策を継続・強化をしていただくとともに、法定福利費の明確な区分・設計書への記載、適正な競争原理および適正価格・適正工事期間による発注と見積もり期間の見直し、などにより公平性を確保した上で、地元企業への優先的な発注および物品調達、施工中の進捗状況の把握と管理の強化を要望いたします。

期待される効果等

地元企業からの物品調達や計画的・安定的な公共事業の発注が行われることにより、地元中小企業の育成・発展および地域経済の活性化につながる。

③ 女性のための創業相談窓口の設置(新規要望)

〈起業家育成・支援委員会〉

女性の社会進出が進み、女性起業家も徐々に増えているとはいえ、水戸の産業を活性化するためには、地域に根差した女性起業家をさらに増やしていく必要があります。

女性起業家を増やすためには、潜在的起業希望者や無関心層に起業や経営について知る機会を提供し、興味関心を引き出すことが重要となります。

女性の場合、相対的に30代で起業する方が多く、リスクが少ない範囲で自身の趣味や得意なこと等をバ

ビジネス(小規模)にする傾向があるため、まずは気軽に相談できる環境を整え、創業を身近に感じてもらうことが女性起業家の掘り起しに繋がると考えます。

つきましては、該当する世代が集い交流を深める施設である子育て支援センター「わんぱーく・みと」「はみんぐぱーく・みと」の2か所に創業に係る相談窓口の設置についてご検討下さるよう要望いたします。

期待される効果等

子育て支援センター「わんぱーく・みと」「はみんぐぱーく・みと」に相談窓口設けることにより、子育て中の20代～40代の女性と創業支援者が交流をできるようになるため、創業への興味関心を促す第一段階の支援を行うことが可能になる。

④水戸市産業活性化コーディネーターの更なる充実(新規要望)

〈工業部会〉

水戸市がひたちなかテクノセンターに委託して、平成29年6月から1人設置している産業活性化コーディネーターは、平成30年3月までの9カ月間で、121件の企業に、累計1,089回訪問するという大きな実績を上げています。

専門的な知識を有し、国・県・市の補助制度の周知をはじめ、問題解決に向けたフォローアップ、産学官連携の橋渡しを行うなど、中小企業が直面するさまざまな問題・課題に対する企業の良き相談相手としての役割を担っています。

当所会員企業からも、「情報提供を受けたおかげで、補助制度を活用することができた」「ISOの認証取得について理解することができた」などという声があがっています。

しかしながら、1人のコーディネーターでは限界がありますので、これを超える相談に対応していくために、1人増員するなど、産業活性化コーディネーターの更なる充実を図っていただきますよう要望いたします。

〈参考:平成29年度水戸市産業活性化コーディネーター支援実績〉

◇水戸市補助金(工業振興支援事業補助金等)の活用による設備投資等の支援

平成19年度以降、年間1件程度の活用だったが、コーディネーターの制度あっせんによって、5件採択。工場増設や移転計画等については、企業誘致コーディネーターとの連携によって、支援制度(市;企業立地促進補助金、国;津波・原子力関連補助金等)を紹介。

	件数	金額(千円)
平成28年度	1	563
平成29年度	5	3,755

◇県事業の活用による経営力向上等の支援

(1) いばらき産業大賞(県事業)応募に係る支援機関等調整

中小企業振興公社や工業技術センターと連携した支援により、カット野菜製造業者が平成29年度大賞を受賞(県内1社)。酒類製造業者も奨励賞受賞(県内3社のうち1社)。※市内企業の大賞受賞は10年ぶり。

(2) 県補助金(省エネ補助金、いばらき中核企業育成促進事業等)の採択支援

- ・省エネ補助金(補助上限100万円、県内10社採択):1社
- ・いばらき中核企業育成促進事業(補助上限1,000万円、県内3社採択):1社
- ・ものづくり産業人材育成確保事業(県内30社採択):6社

◇国事業活用に向けた支援

- ・金融機関からの融資や補助採択の加点につながる経営力向上計画の策定支援:5社
- ・平成29年度補正予算ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金(もの補助)の採択に向けた説明会の開催、申請書類作成支援
- ・次回補助制度を見据え、経産局等とのパイプ作り、企業紹介等も積極的に実施。

期待される効果等

より多くの企業を訪問できるようになり、中小製造業者のニーズの掘り起こしや、専門的課題の解決を図ることができる。

(2)中核市への円滑な移行および政令指定都市を展望した広域合併の推進について(継続要望)

〈建設部会〉

今後、水戸市が活力ある発展を続けるには、歴史と伝統・芸術・文化・豊かな自然など、水戸ならではの個性・特色を育み、まちの魅力を高めるとともに、地域の実情に合ったより質の高い市民サービスの迅速かつ効率的な提供を行いながら、自主性・自立性の強化に努めていく必要があります。そのためにも、平成32年4月に予定されている中核市への移行を円滑に進めていただく必要があります。

また、北関東圏の都市間競争、県南地域との県内都市間競争も激しさが増す中、水戸市が都市間競争に打ち勝つ強固な都市力を身につけるためにも、人口規模の拡大は必要な条件の1つとなります。昨年度からは、急速な少子高齢化と人口減少が見込まれる状況を踏まえ、三大都市圏への人口流失を食い止めるとともに地方圏への人の流れを創出することを目的に水戸市が中心市となり、構成9市町村で茨城県央地域定住自立圏の取り組みも始められ、周辺自治体との協力・連携関係が出来上がりつつあります。

つきましては、茨城県初の中核市移行に向けた取り組みを進めていただくとともに、合併に前向きな近隣自治体との勉強会を設置し、政令指定都市を展望した広域合併の推進を要望いたします。

期待される効果等

市民サービスの向上により、都市の活性化・定住人口の増加につながる。水戸市の魅力的なまちづくりが推進され、都市間の競争力の強化が期待される。

(3)新市民会館の早期整備について(継続要望)

〈小売商業部会、卸商業部会、コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

当所では、にぎわいと交流を生み出し、中心市街地活性化の起爆剤ともなる新市民会館について、これまでに様々な要望をしてまいりました。概ね当所の要望に沿った内容となりましたことに感謝申し上げます。

現在、2018年5月に県が再開発組合の事業計画を認可しましたが、2022年9月の供用開始を目指すということで、当初の予定より約1年半近く遅れているという状況です。

つきましては、中心市街地の活性化は待ったなしの状況であることに鑑み、一日も早い新市民会館の整備と、今後は運営方法等、新市民会館の利活用に係るソフト面についてもスピード感を持って協議・進行していただくよう要望いたします。

期待される効果等

多くの世代が楽しめるコンサートやイベント、市民のさまざまな芸術・文化活動、コンベンション等を実施することで、多くの交流人口を呼び込むことができ、水戸の魅力の発信、産業の育成、経済波及にも大きな効果が期待できる。

(4)中心市街地活性化とまちなか居住促進について

①大通りの魅力向上へ向けた検討組織の設置(継続要望) 〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

中心市街地の国道50号は、道路としての役割だけでなく、賑わい創出の空間としても大変重要な位置付けになっています。大通りの魅力が高まれば、中心市街地が劇的によくなる大きな可能性があります。

つきましては、国道50号の活用策の基本方針等について中心市街地活性化協議会と協議するとともに、大通りのソフト面・ハード面の魅力向上に向けた検討組織を、関係機関で構成し設置していただけるよう要望いたします。

期待される効果等

関係機関で構成する検討組織を立ち上げることで、それぞれの合意形成が図られた提案をすることができ、実現の可能性が高まり、大通りの魅力が高まれば、中心市街地全体にその効果が波及して、多くの人を呼び込むことができる。

②中心市街地(国道50号沿い)の歩道の更なるバリアフリー化(継続要望) 〈社会サービス部会〉

中心市街地(国道50号沿い)の歩道は、交差点との間に段差があり、車椅子での通行が容易ではないこ

とをはじめ、高齢者や障害者にとって危険な段差が見受けられます。

平成29年度の要望に対する回答で、国道50号の歩道は、道路の基準上では、既にバリアフリー化された路線となっているものの、平成28年10月に実施した高齢者や障害者などによる「まち歩き点検・ワークショップ」では、段差の解消など、更なるバリアフリー化を望む声が寄せられたと伺いました。

つきましては、中心市街地(国道50号沿い)の歩道について、交差点との間の段差をゆるやかにするなど、更なるバリアフリー化が進むように、引き続き関係機関への働きかけをお願いいたします。

期待される効果等

高齢者・障害者も含めて、すべての人にやさしく、歩いて楽しめるまちづくりを行って、多くの人を呼び込むことで、中心市街地の活性化を図ることができる。

③裏通りのコミュニティ道路化の検討(継続要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

近年、中心市街地のくろばね通りでは電線地中化や石畳の車歩道などが整備され、明るく美しい景観が増えて歩いて楽しい街を実感できるなど、景観が良くなると、多くの人を呼び込むことが期待されます。

これを更に進め、南町三丁目の M-SPO からくろばね通りに向かう裏通りをはじめ、新市民会館から大工町への誘導を図るために「泉町仲通り」や地元の機運が高まりつつある「茨城オートタクシーからみと楽横丁裏側までの裏通り」などを魅力的な通りにすれば、賑わいの創出や沿道の空き地、空き店舗の有効活用の促進に繋がります。

いずれも幅員の狭い一方通行の裏通りで、電線地中化・美装化等の道路整備にあたっては、地元と協議をする必要がございますが、当所も地元の機運の醸成を図っていきますので、これらのコミュニティ道路化についてご検討くださいますようお願いいたします。

期待される効果等

明るくオシャレな景観により、歩いて楽しめるまちになり、多くの人を中心市街地に呼び込むことが期待され、既存商店の売り上げアップに繋がるほか、空地や空き店舗に魅力的な個店を誘致することができる。



▲電線地中化や車歩道の整備イメージ(くろばね通り)

④多様な交通手段と個店・商店街との連携システムづくり(継続要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

効率的なバスの運行、コミュニティサイクル、駐車場の連携システム、パークアンドバスライドなど、多様な交通手段等はそれぞれ個別ではなく、総合的に考えていかなければならない課題です。

あわせて、中心市街地の個店・商店街で買い物をすると、使用する交通手段の割引がなされるなどの連携ができれば、相乗効果が図られ、中心市街地に人を呼び込むことができます。

つきましては、アプリ「水戸のこと」を拡充して、多様な交通手段と個店・商店街との連携システムづくりの検討をお願いいたします。

期待される効果等

全ての人がさまざまな交通手段を利用して、快適かつ安心に移動でき、個店・商店街と連携することで、更に中心市街地に人を呼び込むことが期待され、まちなか居住における生活利便性の向上にもつながる。

⑤まちなか居住に資する施策の更なる周知(継続要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

中心市街地には、空き地をはじめ、古くなった空き家・空きアパート・空きマンションが多数存在しています。まちなか居住を進めるためには、これを解消することが必要になってきます。

昨年度要望した「まちなか居住に資するマンション・アパートのリノベーション費用に対する支援」の回答で、平成29年度から、民間事業者による良質な都市型共同住宅の整備を促進する「まちなか共同住宅整備

促進事業」および既存住宅ストックの活用を図るため、住宅をリフォームする際の工事費用の一部を補助する「安心住宅リフォーム支援補助金」が創設されたと同いました。

つきましては、更なる周知に努めていただき、多くの方に利用されるよう要望します。

期待される効果等

まちなかの空き地・空き物件の有効活用と、まちなか居住が促進され、中心市街地のにぎわい創出につながる。

⑥子育て世帯まちなか住替え支援補助金の更なる周知及び補助内容の拡充(継続要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

歩いて楽しいコンパクトシティを実現するには、中心市街地の居住人口を増加させる施策が必要になります。水戸市では、平成28年7月から「子育て世帯まちなか住替え支援補助金」が始まりましたが、平成29年度の実績は12件となっており、まだ利用者が少ない状況です。

つきましては、この補助金が多くの人に利用されるように、更なる周知をお願いします。

併せて他市の事例と比べて、住宅取得の補助内容については、やや見劣りがするので、他市の事例を参考に住宅ローン(借入金)の3%(上限50万円)以上を補助するなど、補助内容の拡充についてご検討くださるよう要望します。

〈参考〉

	住宅取得	住宅賃借
水戸市	年額120,000円以内 住宅ローン(借入金)の年末融資残高0.5%に相当する額 期間:申請の日から起算して最大4年間	上限1万円/月 最長4年間(48カ月)
土浦市	住宅ローン(借入金)の3%(上限50万円)	上限1万円/月 最長3年間
富山市	住宅ローン(借入金)の3%(上限50万円)	上限1万円/月 最長3年間

期待される効果等

コンパクトシティの実現に向けて、まちなか居住促進を図ることができ、中心市街地の活性化につながる。

⑦中心市街地独自の認定こども園等の設置要件や介護施設の設置基準設定(継続要望) 〈卸商業部会〉

現在の中心市街地には、認定こども園等や介護施設が少ない状況になっています。1つの要因として、敷地が少ないことから設置基準を満たせないことなどが考えられます。

昨年度の要望に対する回答で、国の省令等の設置要件に基づいて設置されておりますので、独自の設置基準設定につきましては、引き続き地方分権等の推移を注視してまいりたいと同いました。

つきましては、引き続き中心市街地独自の認定こども園等の認定要件や介護施設の設置基準設定についてご検討いただきますよう要望します。

期待される効果等

まちなかに安心して子育てができる環境と老後も暮らせる環境を整えることで、まちなか居住を促進させることで、中心市街地の活性化につながる。

⑧中心市街地エリアについて、認可外の保育施設を水戸市が認定して補助する仕組みの検討(継続要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

現在の中心市街地には、認可保育施設が少ない状況になっています。1つの要因として、認可保育施設には、児童福祉法で1人につき、3.3㎡以上という屋外遊技場の付帯義務があり、敷地が少ないことから設置基準を満たせないことなどが考えられます。

横浜市では「横浜保育室」という認可外保育施設を66園設置しています。「横浜保育室」は、児童福祉法に定めた保育所(いわゆる認可保育園)ではありませんが、横浜市が独自に設けた基準(保育料・保育環

境・保育時間など)を満たしており、市が認定し補助している認可外保育施設です。認可保育所とは園庭の基準が異なり、対象を0～2歳児に絞ることで、園庭を必須要件から外し、園庭のない駅前ビルに入居することが可能になっています。

つきましては、幼児教育無償化の動きを注視しつつ、中心市街地のエリアについては、認可外の保育施設を水戸市が認定して、補助する仕組みについてご検討いただきますよう要望します。

期待される効果等

まちなかに安心して子育てができる環境を整えることで、まちなか居住を促進させて、中心市街地の活性化につながる。

横浜保育室	
・許可外保育施設だが、横浜市が独自に保育料・保育環境・保育時間等に一定の基準を設け認定し、補助している保育施設。	
・対象は3歳未満児。	
・園庭を必須要件としていない。	
・保育従事者のうち3分の2以上が次のいずれかの資格を持つこと（保育士、保健師、看護師、助産師）。	
・開所時間	平日 7時30分～18時30分 土曜日 7時30分～15時30分

⑨空き店舗対策事業の条件緩和(継続要望)

〈小売商業部会〉

コンパクトなまちづくりを推進する上で最も考慮すべき点は、まちなかに住めば、食料品、衣料品、医療など全てが簡単に手に入る利便さにあり、まちなかに住む最も大きな利点になると考えております。

つきましては、下市・上市地区の商店街のにぎわい創出の実行とこれらの生活関連事業において、次世代を担う若手事業者がさらに出店しやすくするため、水戸市空き店舗対策事業の補助条件である「12時以前開店、17時以後閉店とすること」など、条件の緩和をお願いいたします。

これは、まちなかの家賃相場引き下げにつながり、まちなかの賑わい創出につながるものと考えております。また、生活関連で出店する事業者が事業補助を受けられるよう、併せて要望いたします。

期待される効果等

次世代を担う若手事業者が出店しやすくなることで、空き店舗・空きテナント等の利用が促進され、まちなかの賑わい創出につながる。

⑩中心市街地における居住環境整備(利便性向上)(継続要望)

〈中部ブロック〉

現在、中心市街地では食料品や生活必需品などの買い物に不自由する状況で、とりわけ高齢者にとっては大きな問題となっています。

つきましては、まちなか居住推進のためにも、スーパーマーケットなど、居住者の利便性が高い施設の誘致について、特段のご配慮をいただきますよう要望いたします。

期待される効果等

居住者の利便性を高めることで、まちなか居住の推進が図られ、中心市街地の活性化につながる。

⑪中心市街地における防犯カメラの設置(継続要望)

〈卸商業部会、情報文化部会、中部ブロック〉

中心市街地の商店街では、夜間に落書きをされたり、窓ガラスを壊されたりするなど、被害が出ていることから防犯カメラの設置要望が出されております。

平成29年に大工町繁華街周辺に、2台の防犯カメラを増設されたとご回答いただいておりますが、15か所要望した場所に2台設置では防犯の持続性が低くなってしまうことが懸念されます。

つきましては、安心安全のまちづくりの観点からも、防犯カメラの設置については、中心市街地全体をランドデザイン化し、定期的に設置することを継続していくことが、防犯の抑制力をより高めることに繋がりますので、毎年継続的に設置いただくことと併せて、今後の実施計画などの提示を要望いたします。

期待される効果等

犯罪発生時の速やかな認知及び的確な対応等に使用、犯罪の発生を抑止。

(5)千波湖の魅力向上と有効活用について

①千波湖岸の整備とテラス型親水デッキの整備(継続要望)

〈水戸の環境・景観創造委員会〉

当所では千波湖の利活用と水質浄化を目的として、昨年度より千波湖川床実験事業を実施し好評を博しております。本年は夜の部に加え、昼の部(カフェ)を行うことで、より多くの方に千波湖の魅力に触れていただけかと存じます。また水戸市環境フェアとの連携により、当所で以前より提案のボート体験教室の実施など新たな試みも行い、賑わいの創出が図れました。

しかしながら仮設で造成した川床では強度面や天候対応、質感等の面で不足があるほか、建設コストが増大するなど様々な課題もございます。

川床をはじめ、千波湖畔における飲食イベントは市民の憩いの場だけではなく、観光客を呼び込む新たな地域資源活用として水辺の活用は注目され、今後は年一回だけではなく、恒常的な催事の開催も視野に入れたいと考えております。

千波湖においては、霞ヶ浦導水事業の先行運用開始による早期の水質浄化にも期待が高まっており、今後は水質浄化と資源活用の両面から施策推進を図っていただきたく、元消防学校跡地(現駐車場)の整備に合わせ、千波湖南岸に多目的親水デッキを整備していただきたく要望いたします。

期待される効果等

テラス型親水デッキの整備により、川床事業をはじめ飲食関係のイベントが恒常的に実施することができ、千波湖を活用した観光事業等、さまざまな取り組みが行えると期待できる。

また、親水ゾーンの整備により千波湖における多世代交流や賑わいの創出が図れ、水戸のイメージアップにもつながると考えられる。

親水デッキ設置位置イメージ図(千波湖南岸:消防学校跡地付近)



②千波公園周辺の環境整備(継続要望) 〈観光サービス部会、水戸の環境・景観創造委員会、南部ブロック〉

千波湖周辺では、年間を通じて様々なイベントが開催され、賑わいを創出していますが、それぞれが更にグレードアップし、来場者に喜んでいただくためにも、大型バスが駐車可能な駐車場の増設や満車時の効果的な案内方法、雨水排水の整備、トイレや水道などの早期整備を要望いたします。

併せて、千波湖西側駐車場入り口付近に通年設置しているバリケードは路上駐車を予防するものと推察しますが、美観を損ねることから取り外しを要望いたします。

また近年、水戸市におかれましては自転車の利活用による交通網の整備にも力を入れられていますが、千波湖においても多くの市民が自転車で訪れております。一方で駐輪スペースがあまり認知されていない

など、無秩序に駐輪している現状もあります。ついては駐輪場の整備、周知につきましても合わせて要望いたします。

期待される効果等

ふれあい広場周辺の電源整備など、徐々にイベント広場としての整備は進んでいる状況ですが、更なる整備推進により、千波湖周辺の利活用が進むことで、地域振興、観光振興に寄与するものと期待される。

また、千波湖周辺の駐車場については、利活用が進むに合わせ更なる台数需要も想定されることから、量的確保と案内システムの質的充足により、観光客へのおもてなし効果の向上が期待できる。

駐輪場の整備により、市民の自転車利用が促進されることが期待できるとともに、レンタサイクルの利用による市内観光振興につながることを期待される。

※特にラック等も整備されておらず、防犯の観点からも自転車が停めにくい



③レイクサイドボウル跡地の活用(千波湖周辺景観の向上)(継続要望)

〈観光サービス部会、水戸の環境・景観創造委員会、中部ブロック〉

千波湖の周辺環境については、少年の森に隣接した元国有地をはじめ、周辺地域の取得と整備が進められておりますが、千波湖にもっとも近く、偕楽園公園からの導入部分に位置する元「レイクサイドボウル」跡地につきまして、早急な取得と整備計画の検討を要望いたします。

元「レイクサイドボウル」跡地は東日本大震災後に事業者が撤退して以降、廃墟となっており、現在では民間事業者の資材置場となっております。しかしながら千波湖と偕楽園公園の中間に位置しており、多くの観光客がバスで通る等、本市のイメージダウンの一因となっており、市民からも改善を求める声が聞こえております。

同地の取得につきまして、貴市と土地所有者間で交渉が進められていると伺っておりますが、ぜひ早急に取得いただき、整備を推進くださいますよう要望いたします。

期待される効果等

レイクサイドボウル跡地の活用により、観光拠点が整備されることで、水戸市におけるイメージアップ、観光客受け入れによる賑わい創出が期待できる。

レイクサイドボウル跡地位置図と現状写真



④千波湖及び周辺河川の水質浄化(継続要望)

〈水戸の環境・景観創造委員会〉

千波湖及び周辺河川では、毎年アオコが発生し景観を阻害するばかりでなく、様々な利活用をも阻害しています。当所でもアオコ調査をはじめ各種実験事業を行うなど、アオコを抑制しきれいな千波湖を取り戻すための事業等を展開しています。

しかしながら水戸市はもとより関係機関も含め、様々な施策を講じていますが、今のところ決定的な効果は出ておりません。

一方、霞ヶ浦導水事業における国と地元漁協との和解が成立し、今後同事業による千波湖への導水の実現により、千波湖の水質浄化にも大きな効果が期待できます。

全体完成時期は平成35年度(2023年)と示されていますが、那珂川の取水口、桜川から千波湖への新導水路、千波湖から桜川への樋管の整備により、試験的に導水を始めることができます。

水戸市におかれましてはすでに整備を開始していますが、これらの早期完成と、桜川・千波湖での先行運用を、国をはじめ関係機関へ強く働きかけるよう要望します。合わせて必要なモニタリングを通して成果を検証したく実施後の検証体制につきましても合わせてご検討くださいますよう要望いたします。

期待される効果等

これまで県、市をはじめ千波湖の水質改善について、様々な取り組みが行われているものの、決定的な効果は表れていない状況である。

また、当所においても過去に水質浄化実験、アオコ調査等を行ってきた経緯があり、同事業を取りまとめ

た報告書においても、導水運用の早期実現に対して提言しており、現時点でもっとも効果が期待できる浄化策である。

(6) 観光振興策について

① 弘道館等の保護および水戸駅周辺の歴史的景観の整備・活用、駐車場・休憩スペースの整備(継続要望) 〈観光サービス部会、水戸の食と観光開発委員会〉

水戸市の第6次総合計画では、弘道館・水戸城跡地周辺地区の魅力づくりを重点プロジェクトとされており、国の支援をうけながら水戸城大手門の復元のほか国有地である弘道館東側用地に駐車場やイベント広場の整備、水戸駅からの案内看板の設置を進めるなど、歴史的景観の整備に向けた事業に取り組まれているところです。

また、今年には明治維新から150年を迎え、市内でも様々な記念事業が行われています。その一環として水戸駅北口のペDESTリアンデッキから、市立三の丸小や県三の丸庁舎、弘道館、県立水戸三高などを結ぶ周辺道路を巡る計2.8キロのコースを「水戸学の道」として設定し、JR水戸駅北口への観光客誘客促進を図ることで、いきいき茨城ゆめ国体、東京オリンピックに向け水戸の魅力向上に向けた取り組みも進められているところであります。

しかしながら、吉田松陰や西郷隆盛など多くの幕末の志士にも大きな影響を与え、明治維新の原動力となった「水戸学」の発展の場となった弘道館には、その敷地内にあった土塁や門等を破壊して整備されたテニスコートがいまだに残っています。この現状は、歴史的な景観を損なうばかりか、機能面においても大きな問題で、早急に解決すべき課題です。

また、弘道館東側用地を取得し、駐車場やイベント広場の整備が計画されていますが駐車場の規模としては不十分であり、大型バスなどを利用する観光客等の更なる受け入れ態勢の整備が必要です。

つきましては、指定管理者制度の活用等を含め検討いただき、弘道館等の管理運営を水戸市が主体的に行えるよう、茨城県との協議・調整を図り、日本遺産に相応しい弘道館の修復・保護及び文館の早期復元のほか、水戸駅周辺の歴史的景観整備の早期実現と弘道館周辺に大型バスを含めた駐車場や休憩スペース・イベント広場の整備、水戸駅などからの案内看板の設置、それらの幅広い活用と継続したPRに力を注いでいただけるよう要望します。

期待される効果等

水戸の魅力向上と歴史的景観の向上。弘道館の文化遺産としての価値向上、及び大型バスを含む駐車場整備に伴う、観光客受け入れ体制の整備。

② ホスピタリティ向上事業への継続した支援(継続要望) 〈水戸の食と観光開発委員会〉

当所では、水戸市、水戸観光コンベンション協会との連携を図りながらいきいき茨城ゆめ国体、東京オリンピックに向け、ホスピタリティ向上事業を実施しており、平成29年度は「第3回水戸歴史文化検定」、「おもてなしセミナー」、「水戸おもてなしマイスターの認定」、「おもてなし水戸っぽ隊」等の事業を実施しました。

おもてなしの心や知識を有する人材の育成を目的に、引き続きおもてなしに関する検定やセミナーを実施し、一定の基準を満たす者を「水戸おもてなしマイスター」として認定するとともに、認定者のスキルアップを図り、おもてなしに対する意識向上やモチベーションの維持向上を継続して図ってまいります。

また、市内で実施されるイベントや来年9月28日から開催されるいきいき茨城ゆめ国体において、水戸おもてなしマイスター認定者のおもてなし活動の機会創出についても併せて図ってまいります。

つきましては、同事業を広くPRし、認知度を高めていくとともに市民のおもてなしに対する気運の醸成、観光知識や接遇スキルやおもてなしに対する意識の向上を図っていくために、引き続きホスピタリティ向上事業への支援継続をお願いいたします。

期待される効果等

おもてなし向上により、観光地としての魅力アップと観光客のリピート率アップが期待される。

③四季を通じた偕楽園などの有効利用および近隣市区町村との連携(継続要望)

〈水戸の食と観光開発委員会〉

通年型の観光誘致策として、偕楽園では四季を通して梅まつり、桜まつり、つつじまつり、萩まつりの4つのまつりが偕楽園で開催されるほか、市内の桜の名所やセツ洞公園のバラ、保和苑のあじさいなど、四季折々の花の名所と偕楽園・千波湖を周遊バスで結ぶことにより、回遊性の向上を図られているところではありますが、依然として観梅期間中に観光客が集中しているのが現状です。

水戸の更なる観光振興を図っていくには、魅力を生かす仕組みづくりや戦略的な情報の発信などを行い、偕楽園と周辺施設を観光客の誘客に有効活用して行くことが必要です。

また、観光客に対し通年型・滞在型の観光プランの提案や体験型観光の充実など、水戸の滞在時間を拡大させ、地域の消費促進に繋ぐ仕組みづくりや、いきいき茨城ゆめ国体に向け整備が進む市内スポーツ施設を活用したスポーツコンベンションについても併せて推進していく必要があります。

近隣の市区町村に訪れた観光客が水戸に立ち寄ってもらうためには、広域観光の推進を進めていくことが重要です。平成20年1月には、近隣 9 市町村でいばらき県中央地域観光協議会を設置し、広域観光推進に向けキャンペーンや体験型観光ルートのPRに取り組まれているところではございますが、効果は限定的であるように思われます。

つきましては、水戸版DMOの形成を進めていただき通年型観光誘致策として四季をとおした観光イベントや通年型・滞在型の観光プランの提案や体験型観光の充実、スポーツコンベンションの推進を図っていただくとともに、各市町村の優れた特色ある観光資源を有効に活用し、広域連携でないとできない周遊型観光事業を実施するなど観光地誘客に向けた連携の更なる強化を要望いたします。

期待される効果等

年間を通じた観光客の誘客と、広域連携による新たな観光ルートの構築・活用が期待される。

④インバウンド対応および利用しやすい観光案内所の環境整備・案内看板設置(継続要望)

〈水戸の食と観光開発委員会〉

観光は、国内外からの交流人口拡大により地域経済を活性化させることから力強い経済を取り戻すために重要な成長分野として位置付けられており、人口の減少・少子高齢化が進む日本にとっては、国内観光需要の喚起とともに、アジアをはじめとする世界の観光需要を取り込み、リピーターとなっただけのような受け入れ環境の整備が重要となってきております。

水戸市においても既に外国人旅行者の受け入れ環境の整備に対する取り組みを進めているところですが、市内の外国人が立ち寄る店舗・施設等での対応が充分でないケースも見受けられます。

また、訪日外国人は日本・水戸でしかできない人とのふれあいや魅力的な体験を求めて外国人観光客が訪れています。日本人旅行者が少なくなった地方の古民家や民宿に外国人観光客が多く訪れている事例もあります。

つきましては、国際交流センターの活用・連携などにより、市内在住の外国人の意見を取り入れながら、外国人旅行者対応の体制づくりとして、市内事業者・関係団体との連携による水戸版DMOの形成、魅力的な体験型観光プランの開発・企画およびSNSなどでの積極的な情報発信、Wi-Fi 環境の整備推進、キャッシュレス環境の整備、観光事業者などに対する多言語対応の更なる意識向上・体制の構築・コミュニケーションツールの充実を推進していただくとともに、国内外の観光客の玄関口である観光案内所の更なる利便性向上とJRとの調整の上、多言語に対応した案内看板を設置いただけるよう要望いたします。

期待される効果等

外国人観光客の増加、リピーターの確保と観光案内所の利便性向上。

⑤新市民会館への水戸の伝統工芸品展示スペースの設置(新規要望)

〈水戸のカルチャー&スポーツ創造委員会〉

水戸の伝統工芸品産業は、長年にわたり水戸の「ものづくり」文化を支え、水戸の産業に大いに貢献して

きた分野であり、今後も継承していくべき貴重な水戸の財産であります。

しかしながら、伝統工芸品産業は生活様式の多様化に伴う需要の減少や後継者・作り手の減少、原材料の減少等、伝統工芸品産業を取り巻く環境は厳しい状況に置かれております。

一方、近年ではニーズが生活の量的充足から質的充足へと変化し、大量生産・大量消費から、多品種・少量消費への志向変化が見られ、生活に豊かさをもたらすような質の高い製品の需要が高まっています。

また、近年グローバル化が進む中で、古来日本人が編み出し受け継いできた「和」の暮らしの知恵が見直されているとともに、日本の産業の歴史的基盤としての「ものづくり」に対する再評価や、ものづくりの主演となる「職人」という職業へのイメージが高まりつつあります。

そのような明るい兆しもみられる中、水戸の伝統工芸品を実際に見ることができる施設が少なく、PR・周知が不足しているのが現状です。

つきましては、市民のさまざまな芸術・文化活動、コンベンション等の拠点となり、多くの交流人口を呼び込むことができる新市民会館において、水戸の伝統工芸品の展示スペースを設置していただき、広く紹介していただきますようお願いいたします。

期待される効果等

水戸の伝統工芸品を広く紹介することで、伝統工芸品に対する理解を深めるとともに、販路拡大、生産者の生産意欲の向上、後継者の確保につながる。

⑥中心市街地への Wi-Fi 整備に向けてのしくみづくりの検討(継続要望)

〈中部ブロック〉

スマートフォンなどの情報端末が普及し、どこでも高速なインターネットに接続できる Wi-Fi は、必要不可欠な情報インフラとなっており、整備されているエリアには、多くの人の滞留が期待できます。例えば、商店街ごとに基地局を設置して、歩行者のスマートフォンが Wi-Fi に接続した際に、自動的に商店街のイベントや店舗の情報が入ってくるようなしくみをつくと来店を強力に促すこともできます。

八王子市では中心市街地の来街者に対する利便性向上のため、「誰でも利用できる無料公衆無線 LAN サービス」として駅ペDESTリアンデッキ、公園などに Free Wi-Fi を整備しています。

また、那覇市では中心市街地商店街に Free Wi-Fi を整備するとともに、GPS 機能と連動して商店街などの店舗情報を提供するポータルサイトを開設し、より商店街の活性化や市街地の魅力向上に向けた取り組みを行っております。

水戸市においても、行政が中心となり引き続き公共施設への Wi-Fi 整備を進めていただくほか、市民センターや商店街などへも早期に整備していただき、Wi-Fi を活用した情報提供の仕組みを検討いただきますようお願いいたします。

期待される効果等

中心市街地へ人を誘導し、滞留してもらうことが期待され、商店街や個店の情報を発信することで来店を強力に促せる。外国人観光客は、特に Wi-Fi 環境を重視するため観光客の増加が見込めるほか、災害発生時などの緊急時に、通信手段を確保することができる。

2. 水戸市の地域等の課題に対する提案・要望

(1)新市民会館への市役所窓口機能の一部移転の実現について(新規要望)

〈中部ブロック〉

県三の丸庁舎への市役所窓口機能の一部移転につきましては、昨年度、県に対して要望を行っていただき誠に感謝申し上げます。

新市民会館完成後は、中心市街地活性化の観点から市役所の一部機能やコンベンションの機能などを、新市民会館に移転することを検討していただきますようお願いいたします。

期待される効果等

利用者等が中心市街地を回遊することで中心市街地のにぎわい創出につながるとともに、周辺住民の利便性を確保できる。

(2)空き店舗を活用した施設等の有効活用について(継続要望)

〈中部ブロック〉

コワーキングスペース「ワグテイル」につきましては、学生をはじめ、創業者や地元商店街事業者など、多くの方々が交流することができる拠点となるよう、施設の利用促進に努めながら、コワーキングスペースとしての創業支援の強化・充実を図るとのことですが、現状では起業者支援、登録企業のシェアオフィスなどの利用に限定されており、利用者が少ないように見受けられます。

昨年の回答には、ワグテイルを例に挙げ「商店街のイベントをはじめ、文化・観光に係る各種情報を発信するなど、中心市街地の交流拠点」と明記されており、その役割を果たすためには、多くの市民が利用できるよう、観光情報・まちなか情報発信のさらなる強化、休憩施設の充実、カルチャースクールなど多種多様な人々が集う交流施設としてのさらなる活用と市民への周知が望まれます。

また、空き店舗を活用した施設の増設については、昨年度回答をいただけていないことから、具体的な計画事例をご回示くださいますようお願いいたします。

期待される効果等

文化的交流ができれば、市民が憩える場として、にぎわいが創出され、中心市街地の魅力アップにともない、多くの人を呼び込める。

(3)水戸駅から大工町間のバスを定額で1日乗り降り自由にする検討について(継続要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

都市機能を集積したコンパクトシティを実現するためには、中心市街地内の移動を容易にする公共交通が必要です。現在、水戸駅から大工町間はバスが頻繁に運行されており、バス停での待ち時間が少なく乗車することができますが、料金が170円と高く、気軽に利用できるとは言い難い状況です。

一方、梅まつりの時期に水戸漫遊一日フリーきっぷが400円で発売され、水戸駅～偕楽園間(往復480円)の対象区間が1日乗り放題になり、好評を集めています。

つきましては、水戸駅から大工町間のバスを定額で1日乗り降り自由にするについてご検討くださいますようお願い申し上げます。

期待される効果等

気軽にバスを利用できる機会を提供し、中心市街地内の移動を容易することで、中心市街地のにぎわい創出につながる。

(4)まちなか・スポーツにぎわい広場(M-SPO)の積極的活用について(継続要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

まちなか・スポーツ・にぎわい広場(M-SPO)は、オープンカフェ、スタジオ、アリーナなどが官民協働で整備され、平成29年9月にオープンしました。今年度は広場が芝生化され、景観が良くなり、更に多くの人が集まる拠点となることが期待されています。

つきましては、同広場が積極的に活用されるよう、更なる周知に努めていただくとともに、広場の指定管理を民間に委託するなど、利用しやすい施設になるよう要望いたします。

期待される効果等

まちなか・スポーツ・にぎわい広場(M-SPO)だけではなく、周辺にも賑わいが波及し、エリアの価値を上げることができる。

(5)水戸駅北口ペDESTリアンデッキお休み処への水府提灯の設置について(新規要望)

〈コンパクトシティ・まちなか居住推進委員会〉

水戸駅北口ペDESTリアンデッキに、景観まちづくり刷新支援事業で「お休み処」が整備されるとお伺いしております。

水戸市中心市街地活性化協議会では、水戸駅北口が水戸の歴史を感じられる和風の景観になるように、「お休み処」への水府提灯の恒常的な設置について、協議を重ねております。

つきましては、設置に向けて特段のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

期待される効果等

水府提灯は水戸藩の発祥とされ、提灯の三大産地として知られる水戸市の伝統工芸品となっているので、PRに繋がるとともに観光客等に水戸らしい景観を演出することができる。

(6) (仮称)並木通りの整備促進について(継続要望)

〈水戸の環境・景観創造委員会〉

新市民会館脇の(仮称)並木通りを芸術館から京成百貨店、さらには千波公園西の谷まで、一体的に整備することにより、街並みの景観向上を図り、歩きたくなるまちづくりを提案いたします。

当所では、この提案事項の前段階として周辺商店会等の協力の下、京成百貨店西側歩道(京成通り商店会)における景観向上と回遊促進を目的に、植栽とオープンテラス風にベンチ等を設置する『水戸市泉町地区街並み景観向上・回遊促進事業』を9月15日から10月14日まで実施します。

本事業により、歩いて楽しめる空間を実証・提案し、新たな賑わい創出と千波公園西の谷の活用、中心市街地から千波湖・偕楽園への人の回遊につながると考えます。

今後、上記エリアは水戸の新たな通り(ストリート)として重要な役割が期待されます。

つきましては、さらなる回遊促進のためにも(仮称)並木通りの整備促進を要望いたします。

期待される効果等

水戸芸術館、新市民会館から千波湖や偕楽園へのアクセス向上が期待され、市民や観光客が歩きたくなる通りづくりと、街並みの景観の魅力向上が期待できる。

(7)水戸市プレミアム商品券事業の再支援・推進について(継続要望) 〈小売商業部会、卸商業部会〉

水戸市プレミアム商品券事業につきましては、平成23年度から実施し、市内の消費者にも広く浸透し、平成27年度の5回目となるスーパープレミアム商品券については、国の経済対策と地域創生を目的とした交付金により、発行額も大幅に拡大され、水戸市商業の活性化と消費の拡大に大きく寄与しました。

現在、市内小売業者を取り巻く経営環境は消費の成熟化とともに、少子高齢化が急速に進み、厳しい経営環境に直面しております。一方では、仕入れ価格の上昇による収益の圧迫や消費税増税による消費の低迷など、現在でもまだまだ厳しい状況の続く中、各店舗では顧客誘致に努力し、あらゆる販売方策を試みて、市民生活を維持するために賢明な努力をして参りました。

こうした状況から逸早く脱却するための販売促進事業の一環として、ひたちなか市など他市では継続したプレミアム商品券事業が実施されており、生活者の消費・購買意欲を直接的に刺激する有効な施策として活用されています。

つきましては、来年10月に予定される消費税引き上げによる大幅な消費の落ち込みなども危惧されることから、単なる生活支援となる事業ではなく、本来の目的である「消費拡大」につながるプレミアム商品券事業の実施に向け、ご理解・ご協力と予算の確保をお願いいたします。

期待される効果等

市内商工業者の販売力の強化はもとより、消費者の購買意欲を高め、商工業・サービス業界の発展とその経済的効果の一助として地域経済の活性化に大いに寄与する。

(8)黄門ミュージアムの中心市街地への設置について(継続要望)

〈観光サービス部会〉

テレビドラマ「水戸黄門」の影響により、「水戸」といえば「黄門様」のイメージは強く、子供から大人まで全国的に認知されていましたが、平成23年に42年か続いたドラマが幕を閉じました。郷土の誇りである「黄門様」の記憶を風化させないためにも、あらゆる観光資源を活用した手立てを講じなければなりません。

「水戸黄門」をタイトルにイれて開催しているイベントも多いことから、観光客のみならず、水戸市民に向けて水戸光圀公に関する興味や関心を持ってもらう場が必要と考えております。観光客や市民が気軽に立ち寄れるような黄門ミュージアムをまちなかへ設置していただくよう要望いたします。

期待される効果等

街なかの賑わい創出と、水戸の魅力向上。

(9)大名庭園を日本遺産・世界遺産に(継続要望)

〈水戸の食と観光開発委員会〉

偕楽園は、日本三名園・大名庭園として有名です。「大名庭園」をテーマとした申請は、広域連携の在り方と個々の構成施設などから、一連のテーマやストーリー性が、世界遺産としてより理解されやすいと考えられます。

すでに全国10カ所の大名庭園の保護・活用に取り組む民間交流協議会が主催している大名庭園サミットにおいて大名庭園を日本遺産・世界遺産登録に向けた取り組みが進められており、登録に必要な広域連携の土壌は出来上がっていると言えます。

偕楽園は、既に「近世日本の教育遺産」をテーマとした日本遺産の認定を受けており、世界遺産登録の推進が図られているところでありますが、「教育遺産」、「大名庭園」の2テーマでの登録を進めていくことは相乗効果を生み、世界遺産登録を推進していくことにもつながります。

つきましては、偕楽園を含む「大名庭園」をテーマとした、広域連携による日本遺産・世界遺産登録を目指す民間団体との連携をとりながら登録実現に向けた取り組みを進めてくださるよう要望します。

期待される効果等

「大名庭園を」テーマとした広域的な連携は、市民の機運が高まり、世界遺産登録の推進につながる。

(10)逆川緑地の利用促進・案内看板設置、笠原不動尊・水戸神社の修復および保護について(継続要望)

〈水戸の食と観光開発委員会、南部ブロック〉

逆川緑地には、県指定の文化財である笠原水道があり、自然に触れることができる素晴らしい公園です。園路に木道を採用するなど、自然に配慮した整備が行われ、自然をテーマにしたホテルの鑑賞会やサケの放流などのイベントが毎年、開催されておりますが、市民の認知度や利用度は高くありません。

また、逆川緑地内には笠原不動尊と水戸神社があります。笠原不動尊は、江戸時代以前に創立され、古くから水戸の人々の崇敬を集め栄えていましたが、後に取り壊され、昭和になり現在地に再建されました。旧笠原不動尊跡地には水戸神社があります。笠原水道とも所縁の深い笠原不動尊ですが、建屋の老朽化が進み、神社までの石階段も荒れています。

つきましては、逆川緑地での継続したイベントの開催・パンフレットの作成・配布等によるPRを行っていたき、認知度の向上・利用促進をお願いいたします。また、笠原不動尊については所有者特定を進めていただくとともに、水戸神社においては管理者への修復・保護について働きかけを継続していただき、修復・保護の早期実現および観光資源としての活用を要望いたします。

期待される効果等

新たな観光客を呼び込む観光資源としての地位確立と、歴史的文化財の保存・継承、及び逆川緑地の利用促進につながる。

(11)備前堀の観光振興策推進について(継続要望)

〈東部ブロック〉

備前堀周辺を含めた観光振興策の充実および県内外へのPR推進を継続して要望します。

備前堀周辺地区は、周辺に点在する寺社など歴史的資源との連携を生かした観光の拠点づくりを進めていく上で、県内外からの誘客によるにぎわいが創出されるよう、備前堀周辺の観光振興策を充実していただき、さらなるPRおよび推進をお願いいたします。

また、ハミングロードと備前堀を結ぶ南北市道について、歴史的町並みに調和した一体的なデザインで歩きやすく、景観に優れた道路の整備が図られますよう継続要望いたします。特に経年変化によって車道・歩道の陥没、隆起が激しく、景観面だけではなく、通過車両や歩行者の危険度が高いと考えられますので、早急な改修を善処いただきますよう併せて要望いたします。

期待される効果等

備前堀周辺地区の市道整備により、観光客の増加と地域の魅力向上が期待され、定住人口増加につな

がる。また、備前堀沿いの歩道でマルシェや飲食イベントなどを開催しやすくなり、賑わいが創出される。

(12) ケーズデンキスタジアム水戸の観客席増設の早期実現および周辺道路の拡幅と駐車場、歩道の早期整備、周辺施設の整備について(継続要望) 〈水戸のカルチャー&スポーツ創造委員会、南部ブロック〉

水戸ホーリーホックは、水戸の名を全国に広めるツールとしてだけではなく、人と人、地域と地域の交流を促進し、地域コミュニティを活性化する役割を持つ重要な地域資源です。当所は、スポンサー契約を結ぶなど、積極的な支援を続けております。

ケーズデンキスタジアムについては、第1種公認陸上競技場やJ1ライセンス取得スタジアムを目指し、水戸市第6次総合計画において「観客席・トラック・フィールド内の芝生面などを総合的に整備する」と位置づけされており、基本計画をもとに、観客席増席に必要な用地確保のため、地権者との協議を重ね早期改修を目指していると同っています。

観客席増設については、引き続き、早期整備のため観客席増設に必要な用地確保を早期に完了していただきたく要望します。用地確保後には、市民に夢と感動を与え、豊かで活力ある水戸市のにぎわい創出につなげるためだけでなく、サッカーやラグビー、陸上競技などの国際・全国大会などの誘致にもつながることから、早期の観客席増設の建設着工を要望いたします。

また、スタジアム観戦に公共交通機関の利用推進が行われおりますが、依然として車での上客が多いのが現状です。スタジアムの観客用駐車場は2,250台まで拡張され、今後も順次拡張とのことですが、来客数に比べてまだ少なく、駐車場の増設および駐車場からスタジアムまでの歩道整備が必要であり、水戸ホーリーホックの試合があるときには、スタジアム周辺における渋滞が問題となっており、現在道路拡幅の予定はないとのことではありますが、今後、拡幅工事も含めた対策を早急に講じていただけますようお願いいたします。

なお、第1駐車場からの退出時の渋滞が深刻であり、敷地奥からの車両出入り口確保のため用地を確保したと伺いましたので、渋滞解消のため、早急に整備いただけますよう工事着工を要望いたします。

ケーズデンキスタジアム周辺の環境改善により、ケーズデンキスタジアムを利用する人が増える中、隣接する小吹水源池公園など周辺施設の整備促進は、スタジアムへの集客も含めて地域の賑わいへつながると考えられますので、引き続き検討をお願いいたたく要望致します。

期待される効果等

ケーズデンキスタジアム水戸の観客席増設、周辺環境の整備等による、スポーツ振興および集客による賑わいの創出。

(13) 学校・高齢者施設周辺などの安全の強化について(新規要望) 〈小売商業部会〉

学校や図書館、児童が多い施設、高齢者使用施設周辺などの安全強化について要望いたします。

特に通学路におけるブロック塀などの点検や防犯カメラの設置をはじめ、自治会やPTAと連携した見守り・安全措置の強化などをお願いいたします。

期待される効果等

お年寄りや子どもの安全を守り、安心で子育てのしやすいまちを目指す。

(14) 自転車道の整備と自転車を利用した賑わい創出について(継続要望) 〈自動車・交通部会〉

歩行者・自転車・自動車が安全で快適走行できる道路整備については、「水戸市自転車利用環境整備計画」が策定され、安全な道づくりや利用者への意識づくりが図れているとの回答をいただきました。

自転車は原則車道を通行することになっておりますが、車道を走行するのは大変危険なことから、自転車でやむを得ず歩道を走行しなければならない場合は、どのように走行するのがマナー(ルール)であるかを市民全員が把握できるよう広報誌などで周知いただきたく要望いたします。

期待される効果等

快適走行できる道路環境づくりにより自転車の利用促進を促す。

(15)新川の本格的改修並びに下市地区全般の排水整備について(継続要望) <東部ブロック>

地域住民の生命・財産権を水害から守り、安全安心な生活を送れるよう、新川の未整備区間について、早期に整備していただきますよう継続要望します。

安全な暮らしを確保するために、新川における流下機能の適切な維持管理を含め、抜本的な河川改修工事が必要であるため、引き続き県に強く働きかけをお願いしていただき、あわせて経過報告くださいますようお願いいたします。

同様に、下市地区全般の排水対策は、現状では完全に被害が食い止められていません。さらなる被害軽減のため、雨水用貯留槽をはじめとする浸透施設の整備、雨水排水路の流下機能改善とあわせ、冠水・浸水被害発生個所の特定に努めていただき、総合的な雨水対策をお願いいたします。

期待される効果等

台風やゲリラ豪雨などによる冠水・浸水被害を最小限に食いとどめることで、安心・快適な住環境が整備され、同地区への居住人口が増加することが期待される。

(16)県道下入野水戸線の道路拡幅について(継続要望) <東部ブロック>

県道下入野水戸線の百樹園前から酒門六差路までの区間は、道幅が急に狭くなり、歩道も未整備のため、安全面において心配されるところです。

交通の安全性が危惧されており、引き続き土地所有者への用地提供を積極的に働きかけてくださるよう継続要望します。

国道6号線につながる重要な区間でもあり、道路拡幅の早期実現に向け、引き続き用地取得に努めていただくとともに、今後の明確な進捗状況をご報告いただき、県に対して強い働きかけを要望いたします。

期待される効果等

道路拡幅工事の完工により、安心・安全で快適な歩行空間が確保され、交通渋滞の解消や交通事故の減少などの効果が期待される。また、関係路線に関わる地域の経済効果の向上が見込まれる。

(17)下市周辺地区における防犯カメラの設置について(継続要望) <東部ブロック>

防犯対策の一環として、浜田・大野学区にある公立幼稚園・保育所・小中学校周辺の通学路およびハミングロードへの防犯カメラ設置について継続要望いたします。

近年、身近な場所での犯罪が多数起こっており、防犯対策の一環として、防犯カメラの設置は犯罪抑止には効果的で、犯罪発生時においても捜査の迅速化と二次被害の防止に役立つと考えられます。

学校、地域の見守り活動を補完する意味でも、浜田学区・大野学区にある公立幼稚園、保育所、小学校、中学校周辺の通学路に防犯カメラを設置いただき、安全確保の強化が図られますよう要望いたします。

また、ハミングロードへの防犯カメラの設置につきましても、安心・安全で快適な環境の整備により、商店街の誘客が図られ街の活性化にもつながることから善処されますようお願いいたします。

期待される効果等

犯罪の予防や未然防止、犯罪発生時の捜査の迅速化や二次被害の防止に役立ち、地域住民の人口増加および周辺商店会のにぎわい創出・経済効果が期待できる。

(18)50号バイパス河和田南交差点に係る県道玉里水戸線(県道59号線)の右折車線及び右折矢印信号機の新設について(継続要望) <西水戸ブロック>

国道50号バイパス河和田南交差点の右折車線拡幅整備および右折矢印信号機の新設について早期着工を要望します。

昨年度の回答によると「交通渋滞緩和のため必要な措置として認識している」とのことであり、安全で快適な道路環境づくりのためにも早期に整備・設置していただきますよう、茨城県公安委員会に対して働きかけをお願いいたします。

河和田南交差点は1日を通して交通量が多く、赤信号になってから強引に右折する車両が多数見受けら

れます。右折することばかりに集中し、すでに横断を始めた歩行者や自転車に気づかず事故につながりそうになった経験談も聞いていることから早期着工を要望いたします。

期待される効果等

交通渋滞の緩和および事故防止。

(19) 県道赤塚馬口交差点に係る交差点の混雑緩和について(継続要望)

〈西部ブロック〉

常磐大学方面の自由が丘から続く県道赤塚馬口交差点は、国道50号との自由が丘交差点において、朝夕の通勤時間帯に重なる一定の時間、右折待ち車両による渋滞が多発しています。

それにより、上市87号線と県道との交差点では、県道の車線(自由が丘交差点へ向かって左車線)が右折渋滞により塞がれているため、上市87号線から右折で出ることが困難な状況が続いております。

昨年度の回答では、「側端からそれぞれ前後に5m以内の部分での交差点や横断歩道等への駐停車は、道路交通法上禁止されているため、停車禁止帯の設置は難しい」とのことでしたが、停車禁止帯が難しいとなれば代わりになる駐停車禁止を促す看板等の設置、または、スポーツセンター入口から続く、上市87号線の一方通行の道路を水戸幼稚園前の右折できる道路までの一部を相互通行可能にするなど、右折渋滞を緩和できるよう引き続き関係機関等への働きかけを要望いたします。

期待される効果等

渋滞混雑の緩和による定時性・速達性の確保。

(20) 松が丘交差点の混雑緩和に向けた工事早期着工について(再要望)

〈西部ブロック〉

国道50号と幹線市道23号が交わる松が丘交差点について、上水戸方面から国道50号への右折レーンが未整備のため、朝夕を中心に渋滞が生じております。平成28年度まで継続的に要望しておりましたが、平成24年に路線測量及び詳細設計を実施し、あわせて国土交通省及び水戸警察署等の関係機関と協議を重ねていただいていること、平成27年度には右折レーン設置の計画や設計に向けてのスケジュールをご回答いただきましたが、その後、進展の様子がなく上水戸方面からは片側一車線につき、現在も渋滞が多発している状況が続いております。

つきましては、関係地権者の協力をいただきながら用地取得を進め、混雑緩和に向けた早期着工を要望いたします。

期待される効果等

渋滞混雑の緩和による定時性・速達性の確保。

(21) 旧生涯学習センター跡地の活用及び保和苑の周辺整備について(継続要望)

〈西部ブロック〉

東日本大震災後に茨城県生涯学習センターが現在の三の丸庁舎に移転後、旧生涯学習センター跡地については県が土地を保有し、イベント開催時などには水戸市を通して土地の貸借を依頼し、臨時駐車場等として利用されています。

また、隣接する保和苑を含むロマンチックゾーン周辺は、周辺道路の景観等の整備や保和苑の再整備を進めるほか、魅力づくりを推進することを水戸市第6次総合計画において位置づけられ、参道の整備など取り組みが進んでいるところですが、現在駐車場やトイレなども少なく、まだまだ観光客への利便性が低く見受けられます。歴史ある地域資源を活用し、観光地としてPRするにも駐車場や周辺整備は不可欠です。

旧生涯学習センター跡地については、本年度中に競売にかけられるとの話も伺っており、民間業者による土地購入などがされた場合、購入後の活用によっては、地元への還元は少ないことが見込まれます。

つきましては、旧生涯学習センター跡地の活用については、イベント開催時の駐車場への利用だけでなく、恒常的に駐車場やイベント開催など含め多目的に活用できるよう水戸市においても、県と賃貸契約するなどの対策を要望します。また、イベントについては、保和苑周辺で多く開催されておりますので、併せて保和苑周辺の駐車場対策・トイレ・街路灯の増設といった安全面を含めた整備を要望します。

期待される効果等

観光客や周辺の商店等の利用者の利便性の向上。駐車場不足が緩和され、イベント開催時には賑わいを創出することができる。

(22)大塚池周辺及び成就院池流出口の水環境の整備について(継続要望) 〈西水戸ブロック〉

大塚池公園の水質につきましては年々悪化しており、アオコも大量発生し、良好な水辺環境をとり戻すために水質を改善することが急務であるとの回答をいただきました。

大塚池公園は、白鳥の飛来数も多く市民の憩いの場であることはもちろんのこと、水戸市を訪れる観光客にも立ち寄ってほしいと願っております。つきましては、関係機関と連携の上早急な水質の改善をお願いいたします。

また、成就院池流出口の水環境については長年要望しておりますが、国道 50 号バイパス南側の水路については未整備となっており、溜まった水からは羽虫や悪臭が発生している現状です。U字溝を設置していただくなど早期の実現をお願いいたします。

期待される効果等

大塚池公園の水環境の整備により観光資源として価値を高める。

(23)小中学校教育、市民講座などによる水戸の歴史、伝統、文化についての学びの推進について(継続要望) 〈水戸の食と観光開発委員会、水戸のカルチャー&スポーツ創造委員会〉

水戸市内の小中学校では、副読本を授業に活用し、水戸の歴史や伝統、文化に関する学習を計画的に進めていただいているところであります。また、水戸スタイルの教育の一環として、確かな学力の定着、安心できる学校生活の実現、豊かな人間性や社会性の育成を目的とした「まごころプラン」と、国内外で活躍できる人材の育成を目的とする児童・生徒の学力向上に向けた習熟度別学習や次世代エキスパート育成事業など、3つの事業からなる学力向上推進事業「さきがけプラン」を実施され、特色ある教育についても併せて推進されております。水戸市内の小中学校が教育課程特例校として実施されている「水戸まごころタイム」での、水戸教学において水戸の歴史・伝統・文化を学ぶ時間を設け、将来の水戸市の発展の礎となる小中学生に郷土愛を育む教育を推進していくことは非常に重要なことです。

水戸には、日本遺産をはじめとした貴重な文化遺産があり、弘道館を舞台に発展し、その思想が幕末の志士に影響を与え、明治維新の原動力にもなった「水戸学」など素晴らしい学問も有しています。

また、水戸の歴史、伝統、文化に関する知識を高めることは、観光客に対するおもてなしの向上に繋げることができます。

つきましては、水戸の歴史、文化、伝統、学問についての体験型の学習の充実や偕楽園記の暗誦など各学校独自の取り組みを行うなど、小中学校での郷土水戸に関する教育の更なる推進を図られるとともに生涯学習の一環として、みと好文カレッジの講座内容の充実、各市民センターなどでの教養講座、教室などの継続、郷土の歴史などを学ぶクラブ活動や地域の伝統芸能を次世代に伝える活動などの支援など、市民の学びの場の整備・継続・拡大と積極的なPRを要望します。

また、学ぶ意欲がありながらも講座に足を運ぶ時間がない市民のために、講座のインターネット配信や市報を活用した水戸の歴史や伝統、文化の紹介などを検討していただき、更なる学びの場の推進をお願いいたします。

期待される効果等

水戸市の豊かな歴史、伝統、文化の学習機会を拡充し、郷土を愛する心を育む。

(24)「みとっ子お仕事探検隊」への協力・支援について(継続要望) 〈水戸を担う次世代育成委員会〉

当所の水戸を担う次世代育成委員会では、子ども達の職業選択の視野を広げるとともに、地元への就業意欲向上を図ることを目的に、市内小学生を対象とした職場体験事業「みとっ子お仕事探検隊」を今年度実施しました。この事業は、会員組織である商工会議所のチャンネルを活かし、子ども達に水戸市の地域産業

を体験してもらうことで机上では得ることのできないキャリア教育を目指すことを目的としたものです。

今年度は、12社の協力企業にご支援いただき、定員90名とし、参加者には体験したい2企業のコースを選択して職場体験を行いました。事業終了後にアンケート等を実施し、行政機関や学校等と情報を共有して今後にも活かせるような仕組みづくりを考えております。

つきましては、本事業の継続実施により、産学連携を推進するとともに地域一体となった教育支援につながられるよう、引き続きご支援・ご協力をいただけますようご要望いたします。

期待される効果等

職業を選択できる環境を作り、この職場体験を通して、仕事に対する関心を育み、また自分の将来を考えてもらえる機会を小学生に提供することによって、水戸への関心・愛着心を高め、地元での就業意欲向上が図れる。また、行政機関の協力を得られることで、学校・企業・地域一体となった教育支援に繋がる事業となることが期待できる。

(25)東町運動公園新体育館の利活用について(継続要望)

〈経済政策委員会〉

2019年4月にオープン予定の東町運動公園新体育館については、市民がスポーツや健康づくりに親しむ施設として、またスポーツ等の全国大会を誘致できるコンベンションの拠点施設として期待されています。

当施設は中心市街地に隣接するため、スポーツをはじめとするイベントを多く開催することで、中心市街地活性化に寄与することができると考えられますので、継続的に利活用されること、市民が気軽に利用できる運営をお願いいたします。

なお、大規模イベント等が開催される場合の駐車場不足を危惧する声もあることから、駐車場問題や会場へのアクセス方法に関する十分な検討も併せてお願いします。

期待される効果等

市民がスポーツを身近に感じることによる健康意識の向上、全国規模のコンベンション等誘致による交流人口の増加と中心市街地活性化への寄与が期待される。